

本調査研究のポイント

○ 調査研究の概要及びその影響

公立学校で働く教職員を取り巻く状況に鑑み、令和5年度から2年間、全国14か所の教育委員会と連携して、自治体が学校に設置する「マザーズルーム」や「リフレッシュスペース」で使用する備品等の購入費用の一部を助成し（1団体へ最高50万円助成）、教職員の健康維持や健康回復への効果等に係る調査研究を実施しました。

当調査研究をきっかけとして、**文部科学省においてはマザーズルーム等の設置に当たり、「学校施設環境改善交付金」の対象であることを教育委員会あての通知に明示**され、当調査研究を実施した**北九州市においては市の単独事業**として、令和7年度から教職員向けのリフレッシュルーム導入（令和7年度は27校）を事業化するなど、既にその影響を見せているところです。

○ 教職員、学校及び教育委員会への調査結果

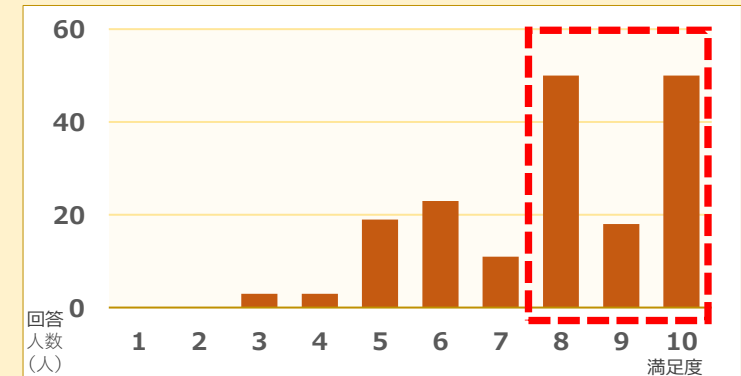
（1）教職員（実施16校在籍）

- ・マザーズルーム・リフレッシュスペースの利用者からは**高評価**をいただきました（右図参照）。また、利用する機会がなかっただけで必要なときには使いたい、という意見が多数ありました。
- ・一方で、そもそも利用する時間がない、利用に当たって周知が十分になされていない等の課題があることも分かりました。

（2）学校及び教育委員会（16校・14教育委員会）

- ・教職員のストレス改善、職場環境改善に効果等があると評価される一方、スペース確保、費用等に課題を感じていることが分かりました。

利用した教職員からの満足度調査結果（N=177）



利用者全体の**約7割の方から高評価（8点以上）**をいただきました。

○ 当調査研究でわかったこと

マザーズルーム・リフレッシュスペースの導入は、教職員の心理的な安心感を与え、健康維持に寄与し、職場環境の改善意識を高めることが確認されました。

学校、教育委員会等において、無理のない範囲における整備等は可能であるため、教職員にとって、全国的に普及されることが望ましいことであると考えられます。

当調査研究の成果について、文部科学省、教育委員会等関係機関へ共有、広報することで、教職員の働き方改革や職場環境の改善を後押しします。

教職員の働き方改革のためのマザーズルーム等の設置に対する支援事業に係る報告書（概要）

1 調査研究の目的

公立学校で働く教職員を取り巻く状況に鑑み、令和5年度から2年間、全国14か所の教育委員会と連携して、自治体が学校に設置する「マザーズルーム」や「リフレッシュスペース」で使用する備品等の購入費用の一部を助成し（1団体へ最高50万円助成）、教職員の健康維持や健康回復への効果等について調査研究事業を実施しました。

当調査研究の成果について、文部科学省、教育委員会等機関へ共有、広報することで、教職員の働き方改革や職場環境の改善に向けた取組が推進されることを目的としています。

2 実施対象教育委員会及び学校

14の教育委員会（16の学校）で実施しました。

助成団体名	対象学校名	運用開始日
八王子市教育委員会（東京都）	いずみの森 義務教育学校	令和5年 8月28日
佐呂間町教育委員会（北海道）	佐呂間中学校	令和5年 9月21日
青森県教育委員会	青森西高等学校	令和5年 9月25日
君津市教育委員会（千葉県）	小糸小学校	令和5年12月 1日
石川県教育委員会	金沢錦丘中学校	令和6年 1月 5日
廿日市市教育委員会（広島県）	原小学校／廿日市中学校	令和6年 2月 1日／2月29日
世田谷区教育委員会（東京都）	八幡小学校	令和6年 2月 1日
府中市教育委員会（広島県）	府中学園（義務教育学校）	令和6年 2月16日
北九州市教育委員会（福岡県）	ひびきの小学校	令和6年 2月16日
西予市教育委員会（愛媛県）	宇和中学校	令和6年 3月11日
吹田市教育委員会（大阪府）	千里第二小学校	令和6年 3月15日
東浦町教育委員会（愛知県）	片葩小学校、東浦中学校	令和6年 3月22日
東大阪市教育委員会（大阪府）	成和小学校	令和6年 4月 1日
加賀市教育委員会（石川県）	錦城小学校	令和6年 4月 8日

事例1：既存の教室を整備したケース

①



②



事例2：更衣室・休憩室等を整備したケース

③



④



事例3：職員室内の一角を整備したケース

⑤



① 佐呂間中学校（北海道）
（名称：やすまある）

② 成和小学校（大阪府）

③ 青森西高等学校（青森県）

④ 千里第二小学校（大阪府）

⑤ 東浦中学校（愛知県）

3 調査の方法

利用者、実施者によって課題、効果等の感想が異なることを踏まえて、以下のとおり、調査を実施しました。

調査対象	調査内容	調査・集計方法
教職員（732人） ※教育委員会が作成した事業計画書に記載された対象者を合算した値	マザーズルーム・リフレッシュスペースの 利用の有無 を確認。 ・利用者には、 利用頻度、利用目的、満足度 を調査。 ・利用していない者には、 利用しなかった理由 を調査。	各教育委員会・学校経由にて、教職員に対して Web機能を活用した調査集計を実施 。 （※下図の二次元バーコードが記載されたリーフレットを対象者に展開。）
学校（16校）	マザーズルーム・リフレッシュスペースの 運用の工夫、好評な備品、得られた効果や課題 を調査。	各教育委員会経由にて、調査書の送付・回収を実施。
教育委員会（14団体）	マザーズルーム・リフレッシュスペースの 設置までの流れ、設置学校の選定基準、設置による効果や課題 を調査。	調査書の送付・回収を実施。

教職員向け調査用
リーフレットの見本

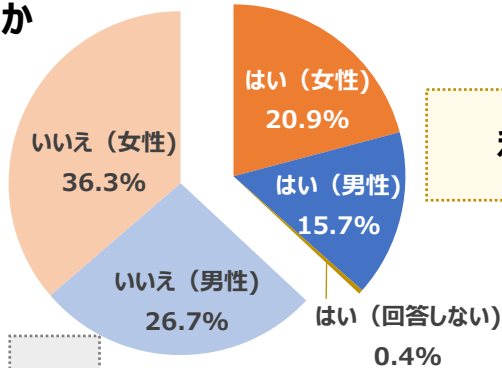


教職員の働き方改革のためのマザーズルーム等の設置に対する支援事業に係る報告書（概要）

4 調査結果

（１）教職員の調査結果(回答数:479人、回答率約65%)

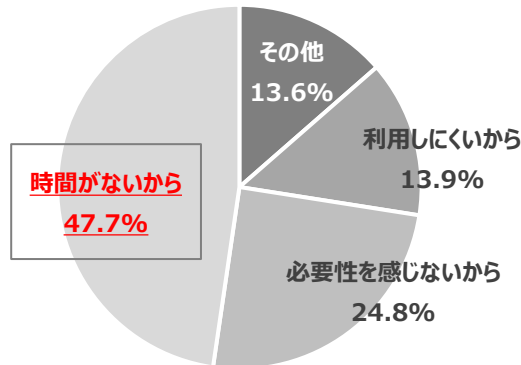
マザーズルーム・リフレッシュスペースを利用しましたか



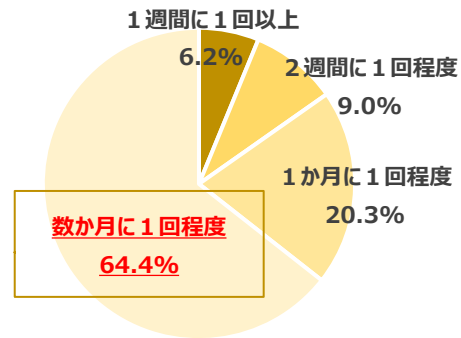
利用した

利用しなかった

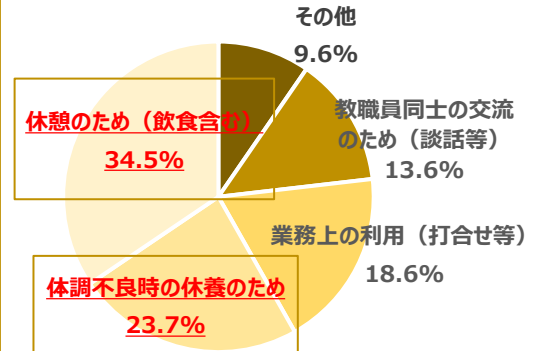
利用しない理由で最も当てはまるものを教えてください



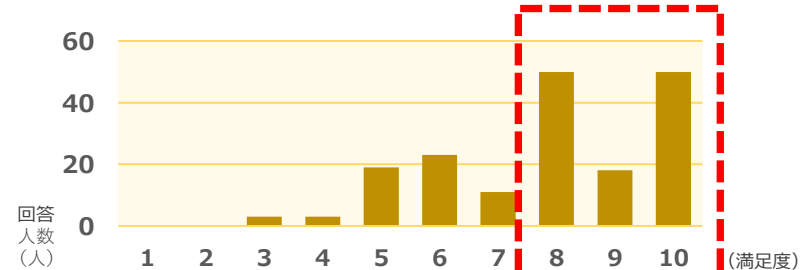
利用頻度はどれくらいですか



利用目的で最も当てはまるものを教えてください



満足度を教えてください（10段階）



利用者による満足度調査の結果、全体の約7割の方から高評価（8点以上）をいただきました。

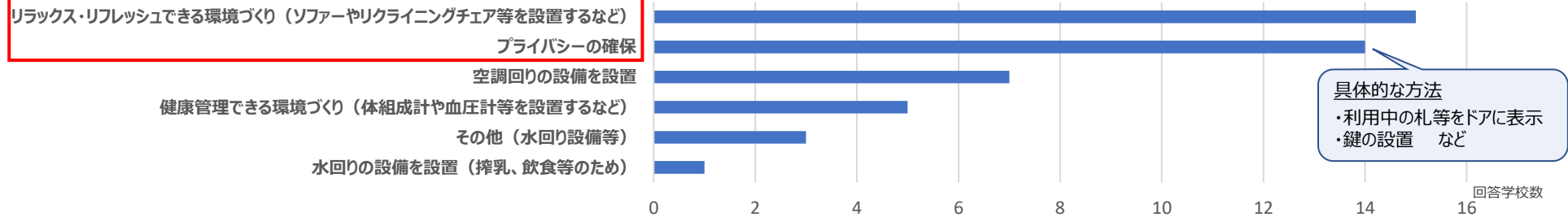
利用者の主な意見

- ・リフレッシュができたり、打ち合わせ等にも活用できたりと大変ありがたい場所だと思います。ありがとうございます。
 - ・清潔で静かな環境が整っており、とても快適に利用できました。プライバシーが守られている点が安心できました。
 - ・体調不良の教員がいた際に使用させていただきました。
- 子どもがいる時間帯だと、横になりたくても保健室は躊躇してしまいますが、リフレッシュスペースがあるので、気にせずに休むことができ、とてもありがたいスペースだと感じました。 など

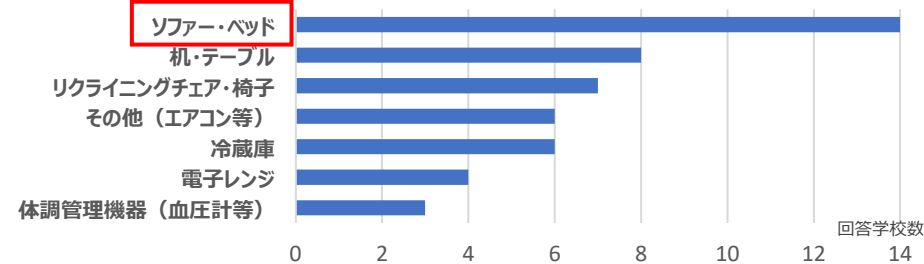
4 調査結果

（２）学校の調査結果

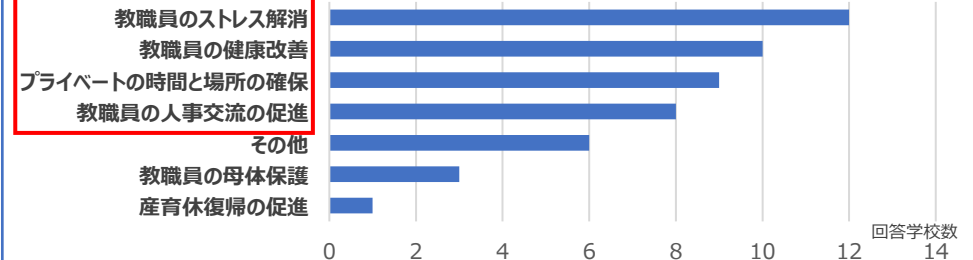
マザーズルーム・リフレッシュスペースを運用する上で工夫や配慮したこと（複数回答可）



好評だった備品（複数回答可）



設置によって得られた効果（複数回答可）



設置によって生じた課題（複数回答可）

- ・多忙な教職員が**利用する時間を取れない**
- ・女性特有の体調不良等で管理職から鍵を借りる際の**心理的ハードルが高い**
- ・保護者の目の付きやすい場所に設置すると、教職員が**利用しにくくなる可能性が高い**
- ・夏季や冬季にはエアコンを常時稼働させないと、快適な室温でリラックスできない
- ・設置直後はリフレッシュルームを利用するくらいなら年休を取るという考えの方が多くいたが、**利用が増え、その考えも少しずつ払拭されていった**

学校からの自由意見等

- ・**教職員の心理的安心感**
- ・**育休明けの先生が復帰しやすくなった、安心して体を休める事ができるようになった**
- ・女性職員から**気持ちの切り替えや体力の回復に努めることができた**との声が寄せられた
- ・職員室以外でリラックスしながら少人数の会議を開くことができた
- ・職場の中で**休憩できる場所がで、職員のメンタルヘルスの向上に貢献**
- ・（当スペースは以前）空調もなく、無機質で、「体を休める・気持ちを整える場所」という雰囲気ではなかったが、現在、**多くの女性職員から感謝の声が聞かれ、本当にありがたいと感じている**

4 調査結果

（３）教育委員会の調査結果

設置によって生じた効果があり、今後の運用や他校で実施する際に参考となるもの

- ・設置により、「体調が悪い時も使用できると思うと安心して働ける」、「このような場所が用意されていること自体がよい」、「体調が悪いときに、横になれて大変ありがたかった」といった声があり、**職員の働く上での心理的安全性の創出や健康維持について、効果が得られている。**
- ・産休・育休明けの職の搾乳スペースとしてだけに留まらず、**体調不良時の職員の休憩スペース**としても活用でき、**激務の教職員の健康改善等に寄与**することができた。
- ・制度の周知により、**職場環境改善の意識付け**ができた。
- ・最初に設置する学校が無ければ2校目、3校目と続かないため、**第一歩**という意味で意義ある設置だった。
- ・運用の開始から継続して一定の利用があることから、**体調不良や生理時に「我慢する必要はない」という考えが広がり、職員がより働きやすい環境づくりにつながっている。**
など

設置によって生じた課題があり、今後の運用や他校で実施する際に参考となるもの

○運用面

- ・「忙しくて利用する時間がない」、「女性特有の体調不良について、管理職に申告した上で利用するのは、心理的なハードルがある」といった声もあり、**職員が利用しやすくなるような働きかけ、ルールづくり等については、今後検討の余地がある。**
- ・稼働率の向上には、**管理職からの働きかけ等による、教職員の意識改革**が必要。

○財政面

- ・マザーズルーム設置校を拡大するには、**財政的支援の拡充**が必要。
- ・**教職員のリフレッシュのための設備投資という理由では、予算要求が難しい。**

○その他

- ・マザールームとしての機能を果たすため**十分なスペース確保が難しい。**
- ・同じ自治体内でマザーズルーム等が設置されている学校と設置されていない学校があることに**不公平感が生じることが危惧**される。 など

マザーズルーム・リフレッシュスペースを学校に設置するに当たっての選定基準

- ・予算の関係でスペースの増設及び冷暖房設備工事、水道・流しの工事が難しいため、マザーズルーム・リフレッシュスペース（教室等）の有無、冷暖房設備工事の有無、水道・流し工事の有無、産育休対象の有無等を選定基準とした。
- ・効果測定の効率と整備の容易さを考慮し、大規模で女性教職員が多く、かつ校舎の広さに余裕がある学校の中から検討（募集時点で育休取得中の女性教職員が複数所属していたことに加え、女性管理職が在職していることも考慮。）した。 など

5 考察

（１）教職員及び学校の調査結果に基づく考察及び今後の方向性への提言

- ① 教職員は人の目を気にせず利用できるスペースがほとんどないため、マザーズルーム・リフレッシュスペースの導入は教職員に安心感を与え、職場環境の改善に役立つことが確認されました。特に利用した教職員から高い評価を得ています。
- ② 利用効果を高めるためには、職員室から遠くなく、プライバシー、室温、清潔感が保たれた快適な環境が必要です。
- ③ 周知不足が利用機会の損失につながっているため、運用ルールを明示し、誰でも使いやすい環境を整えることが重要です。
また、利用に当たっては、ネーミングは慎重に行う必要があることも確認されました。

（２）教育委員会の調査結果に基づく考察及び今後の方向性への提言

- ① マザーズルーム・リフレッシュスペースの導入は、教職員の心理的な安心感や健康維持に寄与し、職場環境の改善意識を高めることが確認されました。
- ② 空き教室不足や導入後に利用されないなどの問題があり、導入・利用促進のための環境整備が必要です。費用面では、自治体への予算措置が課題ですが、無理のない範囲での整備は可能であり、全国的に導入されることが望ましいと考えられます。

教職員の働き方改革のためのマザーズルーム等の設置に対する支援事業に係る報告書（概要）

<参考> 北九州市における令和7年度の職場環境改善の取り組みの一例

◎ 当事業を活用いただいた北九州市において、市単独事業とした「リフレッシュルーム（ミモザルーム）整備事業」を令和7年度北九州市当初予算の新規事業として実施されることから、お話を伺いました。

Q 令和5年度に当共済組合が実施した「マザーズルーム等設置事業」を活用いただきました。

「マザーズルーム等設置事業」を受けて、「リフレッシュルーム（ミモザルーム）整備事業」を北九州市単独事業として実施されることとした思いはどこにありますでしょうか。

A 北九州市では教職員の6割超を女性が占め、産休・育休取得者数は高い水準で推移しており、産前や職場復帰後の就業を支える職場環境整備は重要な課題となっています。

令和5年度に、公立学校共済組合の「マザーズルーム等設置事業」を活用し、北九州市立ひびきの小学校に「リフレッシュルーム」を整備し、職場環境向上の研究に取り組んだところ、利用者から喜びや感謝の声を多くいただきました。

そのため、教職員のウェルビーイング向上の実現に向けて、整備対象を拡大し職場環境の向上に努めるとともに、事例研究を強化していくため、令和7年度市単独事業として事業化に至りました。

事業化にあたっては、令和5年度「マザーズルーム等設置事業」の実施で得た「利用者の声（アンケート結果）」や「利用実績（利用者の年齢層や利用回数）」等を、市の予算要求時に活用することができました。

Q 「リフレッシュルーム（ミモザルーム）整備事業」で目指す教育環境の未来はどのようなものでしょうか。

A 令和8年度以降の予算措置は未定ですが、令和5年度公立学校共済組合「マザーズルーム等設置事業」や令和7年度北九州市「リフレッシュルーム（ミモザルーム）整備事業」で得た成果を、市内全校に拡大していきたいと考えています。

北九州市教育大綱では、「こどものウェルビーイングを実現するためには、教職員のウェルビーイングを確保することが必要」という考え方を柱の一つとして、質の高い教育環境の充実を図っていくとしています。

妊娠中や育児中の就業を支える環境整備を行うことは、教職員の福利厚生を向上させるだけでなく、優秀な女性教職員の離職防止や活躍推進を通じるものと考えており、引き続き教育環境の向上を図ってきたいと考えています。



北九州市教育委員会 ひびきの小学校



「北九州市教育委員会 令和7年度当初予算（概要）」より抜粋
※北九州市ホームページ掲載資料

※上記内容については、当共済組合ホームページにも記載されています。

教職員の働き方改革のためのマザーズルーム等の設置に対する支援事業に係る報告書（概要）

＜参考＞ 共済フォーラム（令和7年3月号）掲載記事に対するご意見の一例



当共済組合では、組合員の皆さまのウェルビーイングを高める福祉事業の調査研究として、「教職員の働き方改革のためのマザーズルーム等の設置に対する支援事業」を実施しています。

この事業では、令和5年度から全国14カ所の教育委員会と連携して、自治体が学校に設置する「マザーズルーム」や「リフレッシュスペース」で使用する備品等の購入費用を一部助成し、教職員の健康維持・健康回復への効果等について調査研究を行っています。これにより、全国16校にマザーズルーム等が設置されました。今後、教職員の働き方改革や職場環境の改善に向けた取組みが推進されるように、令和7年度には16校の効果検証をふまえた調査研究の成果を取りまとめ、関係機関へ共有する予定です。



全国16校にマザーズルーム等が設置されました



- マザーズルームは、主に産後の教職員が安心して働き続けることができるよう授乳や休憩のために設けられたスペースです。
- 出産後の教職員ではなくても、「リフレッシュスペース」として、体調不良時や一息つきたいときなどに活用いただいています。
- マザーズルームやリフレッシュスペースは、新しく部屋を増設しなくても、空き教室の利用や、既存の部屋の一角にスペースをつくることで、あまり費用をかけず設置することができます。

これまで、授乳が必要な教職員が休み時間にトイレで授乳するしかなく、不衛生な環境が原因で体調を崩すこともありましたが、マザーズルームにより改善が期待されています。



●●● 利用者の声 ●●●

- 1. めまいでしんどくなった先生が、リフレッシュルームで休憩しているのを見ました。保健室では子どもの目もありますし、けれども横にならないとつらい症状なので、あって良かったと思います。
- 2. 職員室では一人になれないので、短い時間でもリフレッシュになりました。
- 3. 私自身もつわりがひどく、そのときにこの部屋があればこんなに良かったかと思っています。



マザーズルーム等設置の全事例は、当共済組合ホームページからご覧いただけます。



佐呂間中学校(北海道)
佐森西高等学校(青森県)
小糸小学校(千葉県)
八幡小学校(東京都)
いずみの森義務教育学校(東京都)
錦城小学校(石川県)
金沢錦丘中学校(石川県)
片断小学校(愛知県)
東海中学校(愛知県)
千原第二小学校(大阪府)
成和小学校(大阪府)
府中学園(義務教育学校)(広島県)
原小学校(広島県)
廿日市中学校(広島県)
宇和中学校(愛媛県)
ひびきの小学校(福岡県)

設置校

◎ 当記事に対する読者（教職員）からの自由意見

- ・マザーズルームとても良いなと思いました！民間企業だと職員の休養室が整っているところが多いのではないかなと思うので、学校でもあったほうが絶対に良いと思います。
- ・マザーズルームが設置されれば、育児中の体調不良時に休憩することができるので嬉しいです。私は悪阻で点滴をしないと日常生活もままならなかったもので、横になりながらも仕事ができれば…と何度も思いました。設置はありがたいですが、利用には管理職を始め、すべての教職員の理解が必要と考えます。
- ・どこの学校にもできたら働きやすくなると思います。若い方には、妊娠中物置のような部屋にキャンプ用のマットを敷いて横になって休んだ私のような思いをしてほしくありません。
- ・私は子育て期は終わってしまいましたが、こういう制度があったらもっと働きやすかったなと思いました。
- ・職員室でひとりになることはなく、ストレスをかんじているから休憩室うらやましい。先生たちは、自分のクラスの教室で児童が帰った後いくらでも休憩できるが、事務職員は、児童の対応、保護者、業者の対応などで休むところがない。
- ・学校環境の改善を考えていく上で、新たな気づきでした。
- ・このような取組が多く職場で広がるといいなと思いました。
- ・本当はもっと早く設置しなければいけない部屋なのに、今までなかったのが不思議に思いました。学校は子供達の場所でもあります。働く教職員の場所でもあることをあらためて感じました。
- ・マザーに限らず、心身ともに子供や同僚の目から離れて休憩したいときにできる場所の確保は、労働環境の上でもとても必要なことだと感じた。
- ・この取り組みを初めてしました。職場もリフレッシュできる更衣室に整備し直せたらいいなと思いました。

※ほか多数ご意見をいただきました。

※ 上記「備品等の購入費用に係る一部助成」の取組については令和6年度末をもって終了しています。